

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	広島西こども発達支援センターくれよん（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 5日		～	2024年 11月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数)	70
○従業者評価実施期間	2024年 10月 19日		～	2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月10日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が清潔で心地よく過ごせる環境となっている。 また、子どもたちの活動に合わせた空間である。	刺激の少ない空間作りのための工夫（不要な物が置いていない、職員の服装等）をしている。	現在の取組を継続していく。
2	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	発達課題に合わせたプログラムや就学前指導、個別指導等を行っている。 文化や自然を活動に取り入れている。	現在の取組を継続していく。
3	定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。	年間計画の中に組み込み、計画的に懇談を実施している。	現在の取組を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていない。	活動スペースの広さは基準通りだが、親子通園の部屋は保護者もいるため狭いと感じる。	増築等の検討をしていく。
2	定期的にホームページやSNS等で活動概要が発信できていない。	ホームページやSNS等はあるが、内容や定期的な更新が不十分である。	ホームページやSNS等の内容の充実や定期的な更新をする。
3	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等が十分ではない。	マンパワーが不足している。	マンパワーを充実させ、質の向上の取組を実施する。